資料３－１

第２期丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略に係る地方創生推進プロジェクトについて

<table>
<tr><td colspan="3">プロジェクト１</td></tr>
<tr><td colspan="3">地域とともに出産や成長を喜ぶ仕組みや産前産後のサポートの充実</td></tr>
<tr><td rowspan="2">創生総合戦略 第２期</td><td>施策</td><td>施策１－１「結婚・出産・子育ての希望が叶うまちをつくる」</td></tr>
<tr><td>手段２</td><td>妊娠の希望を叶える支援や産前産後のサポートを充実させるとともに、地域を挙げて、新しい命の誕生をお祝いしていることを子育て世代が実感できる取組を増やす。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Plan（計画）
令和２年度</td><td>妊娠・出産・子育てを地域から応援されていると実感でき、この地域で子育てしたいと感じてもらう取組について、母親・赤ちゃんとの関りが深い健康福祉部健康課を中心とした地方創生推進プロジェクトとして、庁内検討委員会を設置し、検討を行いました。
検討過程では、創生総合戦略推進本部会議にて全庁的に協議したほか、創生総合戦略推進委員会で外部有識者の視点からご意見をいただきました。また、市民アンケートを実施し、子育て世代を中心とした市民の声を反映しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Do（実施）
令和３年度</td><td><u>ハッピーバース応援ギフト事業</u>　（実績　9,446 千円）
妊娠・出産・子育てを応援されていると実感でき、この地域で子育てしたいと感じてもらう取組として、妊娠期から２歳ごろまでに利用していただけるものを贈ります。
特に出産時のギフトは、「丹波市に生まれてくれてありがとう」の思いを込め、「丹波で生まれてよかった」と思っていただけるよう、できるだけ市内産品を活用し、市内事業所の活性化と、地域をあげて子育て応援する機運の醸成を図ります。
●事業実施状況（３年度実績）
<table>
<tr><th>時　期</th><th>ギフト</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>妊娠届出時</td><td>葉酸サプリメント</td><td>364</td></tr>
<tr><td>出生届出時</td><td>燃やすごみ袋小　４巻</td><td>353</td></tr>
<tr><td>赤ちゃん訪問時</td><td>木育製品（カタログ）他市内産品</td><td>353</td></tr>
<tr><td>４か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小６巻他液体ミルク等</td><td>342</td></tr>
<tr><td>10 か月児相談時</td><td>燃やすごみ袋小　８巻</td><td>380</td></tr>
<tr><td>１歳６か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小　６巻</td><td>368</td></tr>
</table>
●市民からの意見（アンケートより抜粋）
・ゴミ袋は本数が減っても大きいサイズが良い
・丹波の名産や事業者が知れてうれしかった
・出産してよかった</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>・より多くの人が丹波市で出産・育児をし、さらに手厚い支援につながるきっかけになればよい
・今後もこの事業を続けてほしい

<u>妊娠確定前診察費への助成</u>　（実績　1,545 千円）
従来の妊婦健康診査費の対象にならない妊娠確定に至る診察費を助成することにより、すべての妊娠期における経済的な支援を実現し、子育てに優しいまち丹波市を推進します。
●事業実施状況（３年度実績）
申請：232 件　平均 6,657 円（1,000 円～10,000 円）
※妊娠届出時に同時に申請される方が多く、届出時に申請されない場合は、情報提供、確認を行っています。

<u>産前産後サポートの充実</u>　（実績　589 千円）
妊産婦が抱える悩みや不安、心身の不調に対し、専門職による相談・支援を行い、不安の軽減・解消を図ります。
●事業実施状況（３年度実績）
実利用 132 件、延べ 199 件利用いただきました。産後ケアサービスでは利用していただける期間を延長し、４人の方が利用されました。</td></tr>
<tr><td>Do（実施）
令和４年度</td><td><u>ハッピーバース応援ギフト事業</u>　（実績　9,338 千円）
【改善ポイント】
アンケート結果を受け、令和４年度からゴミ袋のサイズを変更しました。（令和３年度：小サイズ１巻／月→令和４年度：小サイズ１巻／月、中サイズ１巻／２か月）
●事業実施状況
<table>
<tr><th>時　期</th><th>ギフト</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>妊娠届出時</td><td>葉酸サプリメント</td><td>339</td></tr>
<tr><td>出生届出時</td><td>燃やすごみ袋小２巻・中１巻</td><td>343</td></tr>
<tr><td>赤ちゃん訪問時</td><td>木育製品（カタログ）他市内産品</td><td>343</td></tr>
<tr><td>４か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小２巻・中２巻、液体ミルク等</td><td>336</td></tr>
<tr><td>10 か月児相談時</td><td>燃やすごみ袋小２巻・中３巻</td><td>338</td></tr>
<tr><td>１歳６か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小２巻・中２巻</td><td>390</td></tr>
</table>

<u>妊娠確定前診察費への助成</u>　（実績　1,584 千円）
●事業実施状況
申請：231 件　平均 6,861 円（1,000 円～10,000 円）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>

<u>産前産後サポートの充実</u>　（実績　1,257 千円）

●事業実施状況

産後ケア事業について、宿泊型、乳房ケア型ともに、利用される方が増加し、実 148 件、延べ 247 件の利用がありました。期間延長分の利用は 20 名でした。

</td></tr>
<tr><td>Do（実施）
令和５年度</td><td>

<u>ハッピーバース応援ギフト事業</u>　（実績　10,239 千円）

【改善ポイント】

令和4年度まで各健診時にゴミ袋を配布していましたが、持ち帰りの荷物が多くなることから、令和５年度以降は、赤ちゃん訪問時に一括で配布することにしました。また、市内産品の配布は令和４年度からハッピーバース手当が創設されたことにより廃止しました。

●事業実施状況

<table>
<tr><th>時　期</th><th>ギフト</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>妊娠届出時</td><td>葉酸サプリメント</td><td>324</td></tr>
<tr><td>出生届出時</td><td>燃やすごみ袋小１巻・中１巻、大１巻</td><td>319</td></tr>
<tr><td>赤ちゃん訪問時</td><td>木育製品（カタログ）、燃やすごみ袋小６巻、中４巻、大３巻</td><td>319</td></tr>
<tr><td rowspan="2">４か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小６巻・中４巻、大３巻
液体ミルク等</td><td>118</td></tr>
<tr><td>液体ミルク等</td><td>205</td></tr>
<tr><td>10 か月児相談時</td><td>燃やすごみ袋小４巻・中３巻、大２巻</td><td>185</td></tr>
<tr><td>１歳６か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小２巻・中１巻、大１巻</td><td>249</td></tr>
</table>

<u>妊娠確定前診察費への助成</u>（実績　1,641 千円）

●事業実施状況

申請：230 件　平均 7,135 円（1,000 円～10,000 円）

<u>産前産後サポートの充実</u>　（実績　1,352 千円）

●事業実施状況

産後ケア事業について、宿泊型、乳房ケア型ともに、利用される方が増加し、実 169 件、延べ 235 件の利用がありました。

また新たにパパママ教室（隔月）、マタニティサロン、ベビーサロン（離乳食教室と同時開催）を開始しました。パパママ教室は毎回満員の参加があり、すこやか相談と合わせて 210 人の参加がありました。

</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>Do（実施）
令和６年度</td><td>

ハッピーバース応援ギフト事業（実績　6,567 千円）

【改善ポイント】

令和５年度と同様の取組を行いました。

●事業実施状況

<table>
<tr><th>時　期</th><th>ギフト</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>妊娠届出時</td><td>葉酸サプリメント</td><td>301</td></tr>
<tr><td>出生届出時</td><td>燃やすごみ袋小１巻・中１巻、大１巻</td><td>280</td></tr>
<tr><td>赤ちゃん訪問時</td><td>木育製品（カタログ）、燃やすごみ袋小６巻、中４巻、大３巻</td><td>280</td></tr>
<tr><td>４か月児健診時</td><td>液体ミルク等</td><td>302</td></tr>
</table>

妊娠確定前診察費への助成　（実績　1,539 千円）

●事業実施状況

申請：217 件　平均 7,093 円（1,000 円～10,000 円）

産前産後サポートの充実　（実績　1,078 千円）

●事業実施状況

産後ケア事業について、宿泊型、乳房ケア型ともに、利用される方が増加し、実 175 件、延べ 238 件の利用がありました。
また、パパママ教室を毎月開催にし、ベビーサロンやすこやか相談と合わせて 241 人の参加がありました。

</td></tr>
<tr><td>Do（実施）
令和７年度</td><td>

ハッピーバース応援ギフト事業　（実績　5,300 千円）

●事業実施状況

<table>
<tr><th>時　期</th><th>ギフト</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>妊娠届出時</td><td>葉酸サプリメント</td><td>300</td></tr>
<tr><td>出生届出時</td><td>燃やすごみ袋小１巻・中１巻、大１巻</td><td>283</td></tr>
<tr><td>赤ちゃん訪問時</td><td>木育製品（カタログ）、燃やすごみ袋小６巻、中４巻、大３巻</td><td>283</td></tr>
<tr><td>４か月児健診時</td><td>液体ミルク等</td><td>266</td></tr>
</table>

近年災害が頻発していますので、４か月児健診で液体ミルクを配布時にパンフレットを用いて平時の備えについて啓発もしています。

妊娠確定前診察費への助成　（実績　1,561 千円）

申請：209 人、平均 7,470 円/人（1,000～10,000 円）

</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>
<u>産前産後サポートの充実</u>　（実績　1,021 千円）
パパママ教室を毎月開催し、すこやか相談と合わせて 132 人人の参加がありました。

<u>産後ケア事業を拡充</u>　（実績　4,009 千円）
<table>
<tr><td></td><td>実人数</td><td>延人数</td></tr>
<tr><td>令和６年度</td><td>6</td><td>24</td></tr>
<tr><td>令和７年度</td><td>17</td><td>42</td></tr>
</table>
実人数では前年の約３倍の利用となりました。令和７年度から県下集合契約となり、受け皿が増えたこと、周知により認知度が高まってきたことで大幅に利用者が増えました。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="3">プロジェクト２</td></tr>
<tr><td colspan="3">子育て世代のニーズに適う公園の整備に向けた公園整備方針の策定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">創生総合戦略 第２期</td><td>施策</td><td>施策１－２「みんなで子育てを応援するまちをつくる」</td></tr>
<tr><td>手段５</td><td>こどもにとって、本市で暮らす豊かさ（自然体験・遊び、心地の良い場）が実感できる場（まちのサードプレイス）を充実させる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Plan（計画）
令和２年度</td><td>人口減少に対する子育て支援・地域活性化策として、また、観光・交流の賑わい拠点づくりとして、市内公園の充実を図るため、地方創生推進プロジェクトとして、それぞれの公園の特色を活かした整備について検討を行いました。
策定過程では、創生総合戦略推進本部・関係課長会議で内部協議を進めたほか、創生総合戦略推進委員会で外部有識者の視点から協議いただきました。市民アンケート、市議会総務文教常任委員会・議員総会など、各方面から意見をいただき、策定しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Do（実施）
令和３年度</td><td><u>都市・自然環境を活かした公園整備方針に基づく公園整備</u>
令和３年２月に策定した方針に基づき市内公園の整備を進めます。
●令和３年度実施事業
<u>道の駅丹波おばあちゃんの里</u>　（遊具の設置　21,513 千円）
「ナウマンゾウ（七日市遺跡）をモチーフにしたユニバーサルデザイン遊具１基」と「恐竜をモチーフにした遊具１基」を設置し、３月 26 日の道の駅リニューアルオープンに合わせて使用を開始しました。
<u>青垣児童公園</u>　（遊具更新工事　2,783 千円）
公園内の老朽化した遊具２基を撤去し、新たに複合遊具 1 基と安全サイン１基を設置しました。
<u>青垣総合運動公園</u>　（遊具新設工事　2,189 千円）
こども向け遊具がなかったことから、公園機能の強化を図るため、複合遊具１基を新設しました。
<u>春日総合運動公園</u>　（遊具更新工事　3,179 千円）
出会いの広場内の老朽化した遊具２基の更新を行いました。
<u>三ツ塚児童公園</u>　（遊具修繕工事　1,188 千円）
老朽化していた木製大型複合遊具の修繕を行いました。

●令和４年度実施事業
<u>氷上さくら公園</u>　（展望台の改修　9,009 千円）</td></tr>
</table>

Do（実施） 令和４年度	公園の利便性向上のため、展望台の改修工事により安全対策を行い、11 月に工事が完成しました。 **春日総合運動公園**　（遊具の更新　5,606 千円） ふれあい広場内の老朽化した遊具を撤去し、新たに複合遊具１基を９月に設置しました。 新たに設置した春日総合運動公園の複合遊具 **道の駅おばあちゃんの里**　（トイレの新設・整備　48,357 千円） 家族連れで訪れやすい環境を整備するため、既存トイレを公園・遊具に近い場所に親子トイレとして新設する工事を行い、３月に完成しました。 道の駅のレジ通過客数は 393,696 人で、昨年度と比較すると 156％となり、多くの方に利用いただいています。 **水分れ公園**　（こどもひろば整備工事　40,511 千円） 誰もが安心して利用できる環境を整備するため、こどもひろば整備工事及びトイレの改修工事を行い、３月に完成しました。 また、人工滝ポンプ場改修工事は、令和４年度に契約締結を行い、令和５年度へ繰越し、引き続き工事を行っています。 **今出川親水公園**　（トイレ整備工事等 1,899 千円） 快適に滞在できる環境を整え、利用促進を図るため、トイレ改修工事等を行い、３月に完成しました。 **三ツ塚児童公園**　（大型複合遊具の修繕　1,254 千円） 老朽化していた木製大型複合遊具の修繕を行いました。 **山南中央公園**　（実施設計業務　16,409 千円） 山南中央公園機能移転にあたり、令和５年度に工事着手する範囲の実施設計業務を行いました。 **青垣児童公園**　（実施設計業務　6,200 千円） 青垣住民センター別館跡地を利用した公園の拡張整備工事に向けた実施設計業務を行いました。
Do（実施） 令和５年度	●令和５年度実施事業 **丹波竜の里公園**　（測量・実施設計業務　440 千円） 丹波竜の里公園及び丹波竜化石の発見現場周辺における一体機能の強化を図るため、丹波竜の里公園周辺整備に係る測量業

	務及び実施設計業務を行いました。 **スポーツピアいちじま児童公園　（ベンチ等の新設　433 千円）** こどもの遊ぶ姿を見守りながら滞在・飲食できるようベンチを設置しました。また、公園の一部を臨時駐車場としても使用できるよう出入口の改修を行いました。 **山南中央公園　（実施設計業務　6,703 千円）** 山南中央公園の機能移転にあたり、令和６年度に工事着手する範囲の実施設計業務を行いました。 **山南中央公園　（解体工事　29,623 千円）** 山南中央公園の機能移転にあたり、テニスコート用地を確保するため、薬草薬樹公園内の企業会館等の解体工事を行いました。 **三ツ塚児童公園　（大型複合遊具の修繕　935 千円）** 老朽化した木製大型複合遊具の修繕を行いました。
Do（実施） 令和６年度	**●令和６年度実施事業** **丹波竜の里公園　（公園等の整備工事　14,075 千円）** 丹波竜の里公園及び丹波竜化石の発見現場周辺における一体機能の強化を図るため、丹波竜の里公園の公衆トイレ改修工事を行うとともに、日除け施設とベンチを設置し、発見現場周辺には恐竜スイング遊具を設置しました **青垣児童運動公園　（青垣児童公園整備工事　71,829 千円）** 既存の公園を拡張し、子育て支援や地域住民の憩いの場となるよう芝生広場、飲食エリアの整備、健康遊具の設置等を行いました。 **山南中央公園　（解体工事・公園等の整備工事　348,469 千円）** 山南中央公園の機能移転にあたり、校舎の一部、プール・外部倉庫等の解体工事を行いました。また、校舎の改修及び薬草薬樹公園内のトイレの改修を行いました。
Do（実施） 令和７年度	**●令和７年度実施事業** **丹波竜の里公園　（公園等の整備工事　30,493 千円）** 丹波竜の里公園及び丹波竜化石の発見現場周辺における一体機能の強化を図るため、丹波竜の里公園では大型看板の設置と恐竜ベンチの改修を行うとともに、発見現場周辺では恐竜モニュメント（フォトウォール）の設置と展望広場の改修を行いました。

<table>
<tr><td colspan="3">プロジェクト３</td></tr>
<tr><td colspan="3">仕事と子育ての両立を応援する取組の検討（病児保育のあり方）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第２期創生総合戦略</td><td>施策</td><td>施策２－２「多様な働き方・働きやすい職場をつくる」</td></tr>
<tr><td>手段１</td><td>子育て世代が働きやすい環境をつくるため、認定こども園全園の病児保育実施と、小児科診療と連携した病児保育拠点の整備を実現する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Plan（計画）
令和２年度</td><td>ひとり親家庭、核家族が増えていくなか、仕事と子育ての両立を支援するため、病児の受入れ体制を整備します。
現在、市内の認定こども園 13 園中、病児保育(体調不良時型)は 11 園が実施していますが、インフルエンザ等に罹患した病児を受け入れる体制は整っておりません。
検討経過では、他市の状況調査を行ったほか、８月には子育て世代を中心としたアンケートを実施しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Do（実施）
令和３年度</td><td><u>病児保育（病後児対応型）保育室の開所</u>　（実績　1,992 千円）
対　　象：乳幼児から小学生までのこども
内　　容：疾病にかかり集団生活が困難と判断されたこども
を一時的に預かる病後児保育室を開所します。
定　　員：３名
職員配置：看護師１名、保育士１名
●令和３年度事業実施状況
NPO 法人により令和４年３月１日から１か所運営を開始しました。運営を支援することで、安定した事業の継続を図り、加えて仕事と子育ての両立ができる環境を整えました。現在、利用登録者数４人、利用実績はまだありません。

<u>病児保育(体調不良児対応型)の充実</u>　（実績　47,060 千円）
対象施設:13 か所　（令和４年１月から２か所増設）
全ての認定こども園 13 園において看護師を配置。
内　　容:通園児が体調不良になった時、保護者が迎えに来るまでの間、安心して預けられる環境を整えます。
●令和３年度事業実施状況
市内認定こども園 13 園中、11 園において実施しておりました病児保育（体調不良児対応型）を令和４年１月から 13 園全てにおいて実施しています。(追加：認定こども園ぬぬぎ、認定こども園かすが森の子園)</td></tr>
</table>

Do（実施） 令和４年度	<u>病児保育（病後児対応型）保育室の運営支援</u> （実績　4,863 千円） ●事業実施状況 利用登録者数 32 人、利用実績２人　延べ５日間 <u>病児保育(病後児対応型)保育室の低所得世帯利用料の減免</u> （実績　0 千円） <u>病児保育（体調不良児対応型）の充実</u>　（実績：44,594 千円） ●事業実施状況 ４月当初、市内認定こども園全園（13 園）において実施していましたが、２園において年度途中から看護師が不在となり、体調不良児対応型としては、11 園での実施となりました。 現在、看護師を募集しております。
Do（実施） 令和５年度	<u>病児保育（病後児対応型）保育室の運営支援</u> （実績　4,569 千円） ●事業実施状況 利用登録者数 55 人、利用実績２人　延べ２日間 <u>病児保育(病後児対応型)保育室の低所得世帯利用料の減免</u> （実績　0 千円） <u>病児保育（体調不良児対応型）の充実</u>　（実績　37,038 千円） ●事業実施状況 市内認定こども園全園（13 園）において実施しましたが、４園（認定こども園ミライズそら、さちよ、あおがき、わだ）において看護師が一時不在となり、年間を通じては、９園の実施となりました。

Do（実施） 令和６年度	<u>病児保育（病後児対応型）保育室の運営支援</u> （実績　4,518 千円） ●事業実施状況 利用登録者数 102 人、利用実績１人　延べ２日間 <u>病児保育(病後児対応型)保育室の低所得世帯利用料の減免</u> （実績　0 千円） <u>病児保育（体調不良児対応型）の充実</u>　（実績　39,426 千円） ●事業実施状況 市内認定こども園全園（13 園）において実施しましたが、３園（認定こども園いくさと、あおがき、わだ）において看護師が一時不在となり、年間を通じては、10 園の実施となりました。
Do（実施） 令和７年度	<u>病児保育（病後児対応型）保育室の運営支援</u> （実績　4,564 千円） 対　　象：乳幼児から小学生までのこども 内　　容：疾病にかかり集団生活が困難と判断されたこども を一時的に預かる病後児保育室を開所します。 定　　員：３名 職員配置：看護師１名、保育士１名 ●事業実施状況 利用登録者数 140 人、利用実績０人 <u>病児保育(病後児対応型)保育室の低所得世帯利用料の減免</u> （実績　0 千円） <u>病児保育(体調不良児対応型)の充実</u>　（実績：45,099 千円） ●事業実施状況 市内認定こども園全園（13 園）において、年間を通して看護師を配置し、実施できました。

<table>
<tr><td colspan="3">プロジェクト４</td></tr>
<tr><td colspan="3">子育て世代が働きやすい環境整備の検討</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第２期創生総合戦略</td><td>施策</td><td>施策２－２「多様な働き方・働きやすい職場をつくる」</td></tr>
<tr><td>手段５</td><td>子育て世代が働きやすい環境をつくるため、認定こども園全園の病児保育実施と、小児科診療と連携した病児保育拠点の整備を実現するとともに、子育て世代が安心してこどもを産み育てられると実感できるよう、市内企業に働きかけ、子育てしやすい就労環境づくりを進める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Plan（計画）
令和３年度</td><td>令和２年度プロジェクト「病児保育のあり方検討」の協議の中で、推進委員会等から「病気の時には本当はこどものそばに居たい、本当は無理して保育園に預けたいとは思っていないことを理解してほしい」という意見がありました。
子育て世代が出産や子育てを行う中で、事業所の人手不足などにより、産前・産後に休暇を取得しにくかったり、こどもの学校行事や急な病気の時などに休みにくかったりすることがあります。また、休暇を取りやすいようパート勤務など低賃金な職種を選ぶことにより、不安定な就労・生活環境になることから、第２子、３子の出産が難しいといった現状があります。
そこで、市内企業への訪問や働きかけにより、子育てしやすい就労環境づくりに取組みます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Do（実施）
令和４年度</td><td>① 中小企業支援ハンドブック（事業者向け）の中に事業者に知っておいてもらいたい子育て支援施策についてのページを掲載することで、事業者にも子育て支援施策の周知を図ります。（令和５年当初配付）
② 令和４年度に作成し、令和５年度当初に発行する企業ガイドブックにおいて各企業の「働きやすい職場づくりへの取組」を掲載します。
③ 国制度で職業生活と家庭生活が両立できる“職場環境づくり”の支援として、「両立支援等助成金」があります。（事業主に支給）この補助を受けている事業者に対して市からの上乗せ補助を支給していますが、新たな取組みとして「両立支援等助成金」の支給に必要な手続きに係る費用（社会保険労務士への費用）を助成しました。　（実績　１件、15 千円）</td></tr>
<tr><td colspan="2">Do（実施）
令和５年度</td><td>① 中小企業支援ハンドブック（事業者向け）の中に事業者に知っておいてもらいたい子育て支援施策についてのページを掲載することで、事業者にも子育て支援施策の周知を図ります。（令和５年６月配付）</td></tr>
</table>

	②令和５年度に就職支援ポータルサイトを構築し、令和６年度からサイトをオープンします。これまで企業ガイドブックにおいて掲載していた情報を充実化し、総合的に発信することにより、若者世代の市内就職を推進します。 （実績　9,472 千円） ③ 国制度で職業生活と家庭生活が両立できる“職場環境づくり”の支援として、「両立支援等助成金」があります。（事業主に支給）この助成を受けている事業者に対して、市からの上乗せ助成及び「両立支援等助成金」に必要な手続きに係る費用（社会保険労務士への費用）の助成を行いました。 （実績　13 件、1,698 千円） ④ 働きながら子育てを行うための柔軟な働き方を支援するため、仕事と家庭の両立支援休暇取得奨励金を交付しました。 （実績　６件、600 千円）
Do（実施） 令和６年度	① 令和６年４月１日から就職支援ポータルサイト「キャリたん」を公開し、先輩社員や経営者インタビュー、就職に関する各種情報等を随時配信することにより、「丹波市で働く」キャリアパスとなるようなサイトを運営しました。 （実績　2,710 千円） ② 国制度で職業生活と家庭生活が両立できる“職場環境づくり”の支援として、「両立支援等助成金」があります。（事業主に支給）この助成を受けている事業者に対して、市からの上乗せ助成及び「両立支援等助成金」に必要な手続きに係る費用（社会保険労務士への費用）の助成を行いました。 （実績　10 件、1,479 千円） ③ 働きながら子育てを行うための柔軟な働き方を支援するため、仕事と家庭の両立支援休暇取得奨励金を交付しました。 （実績　16 件、1,600 千円）
Do（実施） 令和７年度	① 就職支援ポータルサイト「キャリたん」について、サイトの認知度向上に向けた取組を進めるとともに、若者世代をターゲットとしてコンテンツの提供や企業情報の更新を行うなど、掲載内容の充実化を図ります。　（実績　2,147 千円） ② 国制度で職業生活と家庭生活が両立できる“職場環境づくり”の支援として、「両立支援等助成金」があります。（事業主に支給）この助成を受けている事業者に対して、市からの上乗せ助成及び「両立支援等助成金」に必要な手続きに係る費用（社会保険労務士への費用）の助成を行います。 （実績　2,137 千円） ③ 働きながら子育てを行うための柔軟な働き方を支援するため、新たに男性の育児休業についても対象（拡充）とし、仕事と家庭の両立支援休暇取得奨励金を交付します。 （実績　2,800 千円）

<table>
<tr><td colspan="3">プロジェクト５</td></tr>
<tr><td colspan="3">ふるさと移住の促進に向けた移住施策の再構築</td></tr>
<tr><td rowspan="3">第２期創生総合戦略</td><td>施策</td><td>施策３－１「人と人のつながりをつくる」</td></tr>
<tr><td>手段１</td><td>住まい・仕事・コミュニティ・交流など移住に必要な情報がまとまった窓口や、お試し移住やお試しテレワークなどのニーズと、民泊などのコミュニティ型宿泊支援とのマッチングを図る仕組みづくりなど、移住支援の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>手段２</td><td>子育て世代の移住や新婚世帯の定住など、ライフステージの移住・定住支障事例を集め、それに対応した子育て世代移住支援パッケージをつくる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Plan（計画）
令和３年度</td><td>丹波市の人口減少対策にとって、10 代後半から 20 代前半にかけての大きな人口移動がポイントであり、この年代のライフステージのニーズをきめ細やかに捉えたうえで、分野横断的に施策展開する必要性が高まっています。
「こどもたちに帰ってこいよと言えるまちづくり」に向け、関係課長等で構成するふるさと移住促進施策検討会を設置し、住まい・仕事・地域活性・観光・教育などの分野を横断的に捉えた移住促進施策について検討を進めます。検討に当たっては、人口移動調査を実施し、その属性や移動時の状況を明らかにし、移住促進施策に役立てます。

検討経過
令和３年５月 20 日　　第１回ふるさと移住促進施策検討会
・人口移動に係る転入出者アンケート調査について検討するとととともに、方針の構成及び施策体系について協議
令和３年６月７日～６月 20 日　人口移動調査
・令和２年度の転入出者を対象に、無作為抽出した転入出者合計 1,000 人に対しアンケート調査を実施
令和３年７月 15 日　　第２回ふるさと移住促進施策検討会
・人口移動調査結果の概要を説明するとともに、ふるさと移住促進方針の構成（案）や各施策の取組（案）について協議
令和３年９月 13 日　総務文教常任委員会
・地方創生推進プロジェクトの進捗を報告し、参考資料として人口移動調査結果報告書を提出
令和３年９月 30 日　第３回ふるさと移住促進施策検討会</td></tr>
</table>

	・ふるさと移住促進方針（案）の内容を検討 令和３年 11 月１日　第２回丹（まごころ）の里創生推進本部 ・丹波市ふるさと移住促進方針（案）の中間報告をとりまとめ 令和３年 12 月 16 日　総務文教常任委員会 ・丹波市ふるさと移住促進方針の検討状況について中間報告 令和４年２月４日　第３回丹（まごころ）の里創生推進本部 ・丹波市ふるさと移住促進方針の決定
Do（実施） 令和４年度	令和４年度は、丹波市ふるさと移住促進方針に基づき、次の各取組を実施しました。 **ふるさと就職奨励金**　（実績　6,500 千円） 対　象：令和４年４月１日以降に市内企業に就職した新規学卒者等 内　容：就職時に５万円、１年経過後に５万円の計 10 万円を給付します。 **●事業実施状況** 130 件の申請があり、交付実績額は 6,500,000 円となりました。 **若者定住奨励金**　（実績　5,000 千円） 対　象：18 歳以上 30 歳未満の市内転入者で、起業または市内外の事業所に正規雇用され、６か月以上継続して市内に居住し、かつ６か月以上継続して勤務する者 内　容：市内に転入し就職等を６か月継続した時点で 10 万円を給付します。 **●事業実施状況** 50 件の申請があり、交付総額は 5,000,000 円となりました。 **Ｕ・Ｉターン者等福祉人材支援補助金**　（実績　1,704 千円） 対　象：丹波市在住の 64 歳以下の者のうち、福祉事業所に正規職員等として雇用された者 内　容：（就職奨励金）就職時５万円 （継続奨励金）就業後 12 か月経過時点５万円 （資格取得費用）福祉資格取得に要した経費 10 万円 （引越費用）市外からの引越しに要した経費 10 万円 **●事業実施状況** 就職奨励金に 27 件、引越費用に４件の申請があり、交付総額は 1,703,900 円となっています。 **その他実施事業** ・アパート版住まいるバンクの実施（９月から実施） ・お試し移住支援制度の導入　（実績　0 千円）

	・企業ガイドブックのWebブック化　（実績　106千円） ・Bizステーションたんばの機能拡充　（実績　12,581千円） ・歌道谷公共用多目的用地の事業用地化　（実績　1,482千円） ・情報発信の強化による意欲ある農業人材の確保 （実績　8,996千円） ・子育てに関するポータルサイトのリニューアル （実績　4,888千円） ・多様な働き方支援や働きやすい職場づくりの促進（プロジェクト４の再掲）　（実績　１件、15千円） ・地域資源を活用した特徴のある公園整備（プロジェクト２の再掲）　（実績　129,245千円） ・地域おこし協力隊を活用した大学のフィールドワーク活性化　（令和５年４月から活動）
Do（実施） 令和５年度	令和５年度は、丹波市ふるさと移住促進方針に基づき、次の各取組を実施します。 **ふるさと就職奨励金**　（実績　11,200千円） 対　象：令和５年４月１日以降に市内企業に就職した新規学卒者等 内　容：就職時に５万円、１年経過後に５万円の計 10 万円を給付します。 **若者定住奨励金**　（実績　13,800千円） 対　象：18歳以上30歳未満の市内転入者で、起業または市内外の事業所に正規雇用され、６か月以上継続して市内に居住し、かつ６か月以上継続して勤務する者 内　容：市内に転入し就職等を６か月継続した時点で 10 万円を給付します。 **Ｕ・Ｉターン者等福祉人材支援補助金**　（実績　3,807千円） 対　象：丹波市在住の 64 歳以下の者のうち、福祉事業所に正規職員等として雇用された者 内　容：（就職奨励金）就職時５万円 （継続奨励金）就業後12か月経過時点５万円 （資格取得費用）福祉資格取得に要した経費10万円 （引越費用）市外からの引越しに要した経費10万円 **若者定住促進家賃補助金**　（実績　0千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに40歳未満の世帯又は義務教育終了前の子がいる世帯 内　容：市外から青垣・山南地域にある特定公共賃貸住宅へ入居する若者世帯に対し、家賃の２分の１（月額上限２万円）を最長で転入から24ヶ月まで補助する。

	若者定住マイホーム取得補助金　（実績　900 千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに 40 歳未満の世帯又は義務教育終了前の子がいる世帯 内　容：新たに住宅を建築・購入した費用（土地購入費・既存建物の解体費用は対象外）の５％（上限 30 万円[過疎地域については 50 万円]）を助成する。 **若者引越支援補助金**　（実績　1,363 千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに 40 歳未満の世帯又は義務教育終了前の子がいる世帯 内　容：引越しにかかった費用（引越し業者や運送業者へ依頼した引っ越し荷物の運搬費等）の一部を補助(上限 10 万円)する。 **その他実施事業** ・アパート版住まいるバンクの実施 ・丹波市移住体験ツアー促進事業補助金　（実績　0 千円） ・就職支援ポータルサイトの構築（プロジェクト４の再掲）（実績　9,472 千円） ・Biz ステーションたんばの機能拡充　（実績　13,046 千円） ・歌道谷用地譲受人募集に係るプロモーション広告（実績　1,320 千円） ・情報発信の強化による意欲ある農業人材の確保（実績　4,189 千円） ・子育てに関するポータルサイト運営委託（実績　3,345 千円） ・多様な働き方支援や働きやすい職場づくりの促進（プロジェクト４の再掲）　（実績　2,298 千円） ・地域資源を活用した特徴のある公園整備（プロジェクト２の再掲）　（実績　38,134 千円） ・地域おこし協力隊を活用した大学のフィールドワーク活性化　（実績　4,109 千円）
Do（実施） 令和６年度	令和６年度は、丹波市ふるさと移住促進方針に基づき、次の各取組を実施します。 **ふるさと就職奨励金**　（実績　8,850 千円） 対　象：令和６年４月１日以降に市内企業に就職した新規学卒者等 内　容：就職時に５万円、１年経過後に５万円の計 10 万円を給付します。

	若者定住奨励金　（実績　19,600 千円） 対　象：18 歳以上 40 歳未満の市内転入者で、起業または市内外の事業所に正規雇用され、６か月以上継続して市内に居住し、かつ６か月以上継続して勤務する者 ※30 歳以上の方は、転入日が令和６年４月１日以降の方に限る。 内　容：市内に転入し就職等を６か月継続した時点で 10 万円を給付します。 **Ｕ・Ｉターン者等福祉人材支援補助金**　（実績　4,215 千円） 対　象：丹波市在住の 64 歳以下の者のうち、福祉事業所に正規職員等として雇用された者 内　容：（就職奨励金）就職時５万円 （継続奨励金）就業後 12 か月経過時点５万円 （資格取得費用）福祉資格取得に要した経費 10 万円 （引越費用）市外からの引越しに要した経費 10 万円 **若者定住促進家賃補助金**　（実績　0 千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに 40 歳未満の世帯又は義務教育終了前の子がいる世帯 内　容：市外から青垣・山南地域にある特定公共賃貸住宅へ入居する若者世帯に対し、家賃の２分の１（月額上限２万円）を最長で転入から 24 ヶ月まで補助する。 **若者定住マイホーム取得補助金**　（実績　1,100 千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに 40 歳未満の世帯又は義務教育終了前の子がいる世帯 内　容：新たに住宅を建築・購入した費用（土地購入費・既存建物の解体費用は対象外）の５％（上限 30 万円[過疎地域については 50 万円]）を助成する。 **若者引越支援補助金**　（実績　2,786 千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに 40 歳未満の世帯又は義務教育終了前の子がいる世帯 内　容：引越しにかかった費用（引越し業者や運送業者へ依頼した引っ越し荷物の運搬費等）の一部を補助(上限 10 万円)する。 **その他実施事業** ・アパート版住まいるバンクの実施 ・お試し移住応援事業補助金　（実績　4 千円） ・地方就職支援金　（実績　0 千円） ・サテライトオフィス等開設支援事業補助金 （実績 31,156 千円）

	・就職支援ポータルサイトの運営（プロジェクト４の再掲） （実績　2,710 千円） ・Biz ステーションたんばの機能拡充　（実績　13,486 千円） ・歌道谷用地譲受人募集に係るプロモーション広告 （実績　165 千円） ・情報発信の強化による意欲ある農業人材の確保 （実績　4,222 千円） ・子育てに関するポータルサイト運営委託 （実績　3,345 千円） ・多様な働き方支援や働きやすい職場づくりの促進（プロジェクト４の再掲）　（実績　3,079 千円） ・地域資源を活用した特徴のある公園整備（プロジェクト２の再掲）　（実績　434,373 千円） ・地域おこし協力隊を活用した大学のフィールドワーク活性化　（実績　4,747 千円）
Do（実施） 令和７年度	<u>ふるさと就職奨励金</u>　（実績　9,500 千円） 対　象：令和７年４月１日以降に市内企業に就職した新規学卒者等 内　容：就職時に５万円、１年経過後に５万円の計 10 万円を給付します。 <u>若者定住奨励金</u>　（実績　13,300 千円） 対　象：令和４年４月１日から令和７年３月 31 日までの間に市内に転入した、18 歳以上 40 歳未満の方で、令和７年４月 30 日までに起業または市内外の事業所に正規雇用され、６か月以上継続して市内に居住し、かつ６か月以上継続して勤務している方 ※30 歳以上の方は、転入日が令和７年４月１日以降の方に限る。 内　容：市内に転入し就職等を６か月継続した時点で 10 万円を給付します。 ※本制度は、令和８年１月 31 日をもって終了しました。 <u>Ｕ・Ｉターン者等福祉人材支援補助金</u>　（実績　4,577 千円） 対　象：丹波市在住の 64 歳以下の者のうち、福祉事業所に正規職員等として雇用された者 内　容：（就職奨励金）就職時５万円 （継続奨励金）就業後 12 か月経過時点５万円 （資格取得費用）福祉資格取得に要した経費 10 万円 （引越費用）市外からの引越しに要した経費 10 万円

	若者定住促進家賃補助金　（実績　0 千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに 40 歳未満の世帯又は義務教育終了前の子がいる世帯 内　容：市外から青垣・山南地域にある特定公共賃貸住宅へ入居する若者世帯に対し、家賃の２分の１（月額上限２万円）を最長で転入から 24 ヶ月まで補助する。 **若者定住マイホーム取得補助金**　（実績　1,399 千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに 40 歳未満の世帯又は義務教育終了前の子がいる世帯 内　容：新たに住宅を建築・購入した費用（土地購入費・既存建物の解体費用は対象外）の５％（上限 30 万円[過疎地域については 50 万円]）を助成する。 **若者引越支援補助金**　（実績　2,556 千円） 対　象：市外からの転入で、夫婦・パートナーともに 40 歳未満の世帯、義務教育終了前の子がいる世帯又は 18 歳以上 40 歳未満の女性がいる世帯 内　容：引越しにかかった費用（引越し業者や運送業者へ依頼した引っ越し荷物の運搬費等）の一部を補助(上限 10 万円)する。 **その他実施事業** ・アパート版住まいるバンクの実施 ・お試し移住応援事業補助金　（実績　149 千円） ・地方就職支援金　（実績　0 千円） ・就職支援ポータルサイトの運営（プロジェクト４の再掲）（実績　2,147 千円） ・Biz ステーションたんばの機能拡充　（実績　13,486 千円） ・情報発信の強化による意欲ある農業人材の確保（実績　4,713 千円） ・子育てに関するポータルサイト運営委託（実績　3,345,100 円） ・子育てに関するポータルサイト「やさしい日本語」変換対応改修　（実績　176,000 円） ・多様な働き方支援や働きやすい職場づくりの促進（プロジェクト４の再掲）　（実績　4,938 千円） ・地域資源を活用した特徴のある公園整備（プロジェクト２の再掲）　（実績　30,493 千円） ・地域おこし協力隊を活用した大学のフィールドワーク活性化　（実績　1,864 千円）

<table>
<tr><td colspan="3">プロジェクト６</td></tr>
<tr><td colspan="3">地域を支える福祉人材の確保・育成・定着に向けた方策の検討</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第２期創生総合戦略</td><td>施策</td><td>施策２－１「魅力的なしごとをつくる」</td></tr>
<tr><td>手段</td><td>キャリア教育を実施し、こども・学生時代に市内企業を知ることで、市内での就職について考える機会をつくるとともに、不足する地域産業の担い手を確保・育成する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Plan（計画）
令和４年度</td><td>全国的に人口減少社会がもたらす現役世代の減少に伴って、今後は高齢者介護や保育等の福祉人材の確保が非常に困難な状況となります。
市内では人材が確保できないことから一部のサービスにおいて利用を制限せざるを得ない状況も生じています。
市では、福祉人材確保対策として３つの補助制度を実施してきましたが、制度を活用した人材確保実績が少なく、その効果も顕著に現れていない現状です。
福祉人材の確保は、経営基盤の「要」であり、特に介護や保育等の分野を中心に量的拡大が求められているため、現行の補助制度を拡充するとともに、市内の女性や有資格者に限定することなく、市外からのＵ・Ｉターン者や無資格者を含めて、本市の福祉を支えるために必要な人材の「確保」「育成」「定着」に向けて、実効性があり、かつ移住定住施策と連携しながら丹波市版の取組方策の検討を進めます。

【分野横断的な共通の課題】
・介護及び障がいに係る施設や事業所の安定的な運営
・認定こども園及びアフタースクールの安定的な運営
・移住定住の促進、「丹（まごころ）ワークサポートたんば」との連携

令和４年度に「丹波市福祉人材確保各課連絡会議（庁内会議）」、「丹波市福祉人材確保対策会議（庁外機関）」を立ち上げ、福祉人材確保についての横断的な検討を行い、福祉人材確保に関する事業の安定的な運営推進を図ります。検討後、即時取り掛かることができる事業については、取組を進めていきます。</td></tr>
</table>

	【検討経過】 令和４年７月５日　　福祉人材確保各課連絡会議 令和４年８月５日　　福祉人材確保対策会議 ・市の福祉人材確保対策の現状について説明するとともに、地域を支える福祉人材の確保・育成・定着に向けた取組方策の検討について協議 令和４年 10 月 26 日　福祉人材確保各課連絡会議 ・８月に行われた福祉人材確保対策会議の報告と福祉事業所への実態調査（アンケート）について説明し、福祉人材の確保について協議 令和４年 11 月 28 日　福祉人材確保対策会議 ・福祉人材確保対策に係る体系表の再構成と取組方策の検討に対する法人・事務所の人材マネジメントの状況調査について検討 令和４年 12 月　　福祉事業所等実態調査 ・市内の福祉事業者を対象に、福祉人材の確保・育成・定着に向けた取組の現状について調査。令和４年度中に調査の集約を行い、事業所側の実態を分析する
Do（実施） **令和５年度**	令和５年度は、庁内会議、庁外会議において、福祉事業所等への実態調査結果をもとに、福祉人材の確保対策に係る体系表の見直しを行い、市や福祉事業所など実施主体による取組方策の具体的な進め方についての検討を行いました。 **【検討経過】** 令和５年５月24日　　福祉人材確保各課連絡会議 ・法人・事務所等への実態調査結果をふまえ、体系表（案）の見直しについて協議 令和５年６月14日　　福祉人材確保対策会議 ・調査結果から、今後会議において議論する内容について協議 ・各分野（高齢、障がい、児童）における取り組み可能な項目についての情報共有と意見交換 令和５年10月23日　　福祉人材確保各課連絡会議 ・『地域を支える福祉人材の「確保」「育成」「定着」に向けた取組方策（案）』について協議 令和５年11月６日　　福祉人材確保対策会議 ・『地域を支える福祉人材の「確保」「育成」「定着」に向けた

	取組方策（案)』について協議 ・地域を支える福祉人材「確保」「育成」「定着」に向けた具体的な取組方策及び目標設定の検討
Do（実施） 令和６年度	令和６年度は、庁内会議、庁外会議において、福祉人材の確保対策に係る体系表やその取組内容について検討を行い、『地域を支える福祉人材の「確保」「育成」「定着」に向けた取組方策』を策定しました。 **【検討経過】** 令和６年７月９日　福祉人材確保各課連絡会議 ７月17日　福祉人材確保対策会議 11月13日　福祉人材確保各課連絡会議 11月25日　福祉人材確保対策会議 令和７年３月　『地域を支える福祉人材の「確保」「育成」「定着」に向けた取組方策』の策定
Do（実施） 令和７年度	令和７年度は、庁内会議、庁外会議、分野別（保育・高齢・障がい）の意見交換会を開催し、令和８年度に向けて引き続き福祉人材確保についての横断的な検討を行い、将来を見据えた事業の安定的な運営推進を図りました。 【検討経過】 令和７年６月18日　福祉人材確保各課連絡会議 ８月22日　福祉人材確保対策会議 令和７年10月～令和８年１月 分野別意見交換会 令和８年３月13日　福祉人材確保各課連絡会議 令和８年３月25日　福祉人材確保対策会議 ・『地域を支える福祉人材の「確保」「育成」「定着」に向けた取組方策』にかかる体系表に基づき、市や福祉事業所など実施主体において意見や課題から取組方策の具体的な進め方を検討

<table>
<tr><td colspan="3">プロジェクト７
小・中学校と高校とのふるさと教育の連携と丹波市ならではの
フィールドを活かした教育の実践</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第２期創生総合戦略</td><td>施策</td><td>施策３－１「人と人のつながりをつくる」</td></tr>
<tr><td>手段４</td><td>高等学校と、地域課題を一緒に見つめ、解決策を導き出す教育活動を協働とともに、本市で過ごすこども時代を通じて本市に愛着と誇りを持つ取組を進める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Plan（計画）
令和４年度</td><td>市内小学校では、コロナ禍においても、学校支援コーディネーターを中心に地域人材による学習や生活への積極的な支援を推進し、「たんばふるさと学」を通じて、こどもたちのふるさと丹波を愛する意識の醸成を目指しています。
市内７中学校では、キャリア教育の一環として、地域資源を活用したアントレプレナーシップ教育を実施しており、「起業家精神」「起業家的資質・能力」の育成を目指しています。また、市内県立３高等学校は、それぞれの特色や規模に応じて地域課題等を題材にした探究活動を実施し、取組の成果等を学校内外に向けて発信しています。これらの取組が深い学びにつながるよう、義務教育期間から高校への連続した学びについて検討を行います。また、丹波竜化石・水分れ・氷上回廊など丹波市ならではの地域の教育資源や人材を活かした学びの充実により、地域に誇りをもち、将来丹波市を離れてもふるさとと関わりたいと、ふるさと丹波市への愛着を育む取組について検討します。

【令和４年度の取組】
・<u>ふるさとへの誇りと愛着を育む教育に係る丹波市中高連携事業（７月開催）</u>
各高等学校３年生が出身中学校に出向き、中学２年生を対象に自分たちが学んできた探究授業のプレゼンテーション及び学校紹介を行いました。高校生から直接話を聞き、学習内容を交流することにより、相互のキャリア形成並びにふるさと意識の醸成につながりました。
令和４年７月 14 日　氷上中学校にて実施
令和４年７月 19 日　氷上中学校以外の６校にて実施

・<u>「竜学」の実施</u>
市内小学生（希望者）が「こども恐竜大使」として丹波市と同じように恐竜化石が発掘された市町を訪問し、現地学習を行いました。訪問先の小学生との交流学習を通して、双方の学びを深めることができました。また、12 月４日に開催された「丹波竜フェスタ」にて報告会を開催し、学習の成果を市</td></tr>
</table>

	民に広く発表しました。 実施日：令和４年 10 月 8 日～10 月 10 日 訪問先：徳島県勝浦町 ・「たんばふるさと学」推進事業 ふるさとへの愛着と誇りを持ち、ふるさとに関わろうとする意識と態度の醸成を図ることを目的に、ゲストティーチャーを招いた体験活動や講義を行いました。（対象：小学生） また、「ふるさと教育展示会」を開催し、各小学校がフィールド学習で学んだ成果物を展示しました。 展示期間：令和４年 11 月 26 日～12 月９日 展示場所：山南住民センター 展示内容：「丹波竜の取組」について （令和５年２月 15 日～３月 12 日　水分れフィールドミュージアムにて開催） ・「STGs（Sustainable Tamba city Goals）ゲーム（仮称）」の検討 丹波市を持続可能なまちとして次世代へつなぐため、「自分たちに何ができるか？」を考えるきっかけとなる、丹波市オリジナルの学習教材の作成を検討します。令和４年度は、検討会立ち上げに向けて準備を行いました。
Do（実施） 令和５年度	・丹波市オリジナルボードゲーム「ＴＭＫ」の製作 丹波市を持続可能でより住みよいまちにするにはどうすればよいかを考え、楽しみながら学べる丹波市オリジナルの学習教材を製作しました。製作にあたっては、市内の高校生とも連携し、丹波市特有の自然環境や農作物、伝統文化などを取り入れながら、ふるさとへの愛着を育成するとともに、中学校２年生を対象にトライやる・ウィークでの事業所体験活動の事前学習としての活用を図りました。 ・ふるさとへの誇りと愛着を育む教育に係る丹波市中高連携事業（３月開催） 各高等学校２年生が出身中学校に出向き、中学２年生を対象に自分たちが学んできた探究授業のプレゼンテーション及び学校紹介を行いました。高校生から直接話を聞き、学習内容や学校生活について交流することにより、相互のキャリア形成並びにふるさと意識の醸成につながりました。 ・令和６年３月 18 日（月）柏原中学校、氷上中学校、春日中学校にて実施

	・令和６年３月 19 日（火）山南中学校、青垣中学校、市島中学校にて実施 **・「たんばふるさと学」推進事業** ふるさとへの愛着と誇りを持ち、ふるさとに関わろうとする意識と態度の醸成を図ることを目的に、ゲストティーチャーを招いた体験活動や講義を行いました。（対象：小学生） また、「ふるさと教育展示会」を開催し、各小学校がフィールドを活かした学習の成果物を展示しました。 ・第１回展示会 期間：令和５年 11 月 20 日～12 月３日 場所：山南住民センター 内容：丹波竜を生かした取組 ・第２回展示会 期間：令和６年２月 17 日～３月 10 日 場所：氷上回廊水分れフィールドミュージアム 内容：丹波竜を含む丹波市の地域資源を生かした取組 **・交流学習「竜学」の実施** 市内小学生（希望者）が「こども恐竜大使」として丹波市と同じように恐竜化石が発掘された市町を訪問し、現地学習を行います。また、「丹波竜フェスタ」にて報告会を開催し、学習の成果を市民に広く発表しました。 実施日：令和５年 10 月７日～９日 訪問先：福井県勝山市
Do（実施） 令和６年度	**・丹波市オリジナルボードゲーム「ＴＭＫ」の配置・活用** 完成したボードゲーム「ＴＭＫ」を使い、中学校教諭が集まる教科研究部会において先生方に体験していただく機会を設け、ボードゲームのねらいや進め方を説明した後、市内各中学校に配置しました。実際の授業で活用し、グループでゲームを進めるなかで、市内の特産品や名所旧跡等の地域の魅力や課題を知るきっかけづくりに寄与しました。 **・ふるさとへの誇りと愛着を育む教育に係る丹波市中高連携事業（３月開催）** 各高等学校２年生がオンライン（一部中学校訪問）で、中学２年生（一部１年生含む）を対象に自分たちが学んできた探究授業のプレゼンテーション及び学校紹介を行いました。高校生から話を聞き、学習内容や学校生活について交流することにより、相互のキャリア形成並びにふるさと意識の醸成につながりました。

	・令和７年３月 17 日（月）柏原中学校、氷上中学校、市島中学校にて実施 ・令和７年３月 18 日（火）山南中学校、青垣中学校、春日中学校にて実施 **・「たんばふるさと学」推進事業** ふるさとへの愛着と誇りを持ち、ふるさとに関わろうとする意識と態度の醸成を図ることを目的に、ゲストティーチャーを招いた体験活動や講義を実施しました。（対象：小学生） また、「ふるさと教育展示会」を開催し、各小学校がフィールドを活かした学習の成果物を展示しました。 ・第１回展示会 期間：令和６年 11 月 30 日～12 月 12 日 場所：山南住民センター 内容：丹波竜を生かした取組 ・第２回展示会 期間：令和７年３月１日～３月 12 日 場所：氷上回廊水分れフィールドミュージアム 内容：丹波竜を含む丹波市の地域資源を生かした取組 **・交流学習「竜学」の実施** 市内小学生（希望者）が「こども恐竜大使」として丹波市と同じように恐竜化石が発掘された市町を訪問し、現地学習を行いました。また、「丹波竜フェスタ」にて報告会を開催し、学習の成果を市民に広く発表しました。 実施日：令和６年 10 月 19 日～21 日 訪問先：群馬県神流町
Do（実施） 令和７年度	**・丹波市オリジナルボードゲーム「ＴＭＫ」の活用** 引き続きトライやる・ウィークの事前学習など中学校の授業で活用し、丹波市の課題や魅力の発見、新たな気づきを得る機会を提供するとともに、ふるさとへの愛着を育みました。 **・ふるさとへの誇りと愛着を育む教育に係る丹波市中高連携事業** 市内各高等学校２年生が６中学校を訪問し、中学２年生（一部１年生含む）を対象に、学校紹介及び自分たちが学んできた探究授業のプレゼンテーションを行いました。中学生は、「高校の魅力を知る」をテーマに、高校生との交流企画を実施しました。この事業により、進路への関心を高めるとともに、相互のキャリア形成並びにふるさと意識の醸成につながりました。

	・令和８年３月 17 日（火）山南中学校、青垣中学校、春日中学校にて実施 ・令和８年３月 18 日（水）柏原中学校、氷上中学校、市島中学校にて実施 **・「たんばふるさと学」推進事業** ふるさとへの愛着と誇りを持ち、ふるさとに関わろうとする意識と態度の醸成を図ることを目的に、ゲストティーチャーを招いた体験活動や講義を実施しました。（対象：小学生） また、「ふるさと教育展示会」を開催し、各小学校がフィールドを活かした学習の成果物を展示しました。 【展示会】 期間：令和７年 11 月 29 日～12 月 11 日 場所：山南住民センター 内容：丹波市のフィールドを活かした「ふるさと教育」学習の取組 **・交流学習「竜学」の実施** 市内小学生（希望者）が「こども恐竜大使」として丹波市と同じように恐竜化石が発掘された石川県白山市を訪問し、化石発掘現場の見学や化石発掘体験、施設見学等の現地学習を実施しました。また、白山市の小学生とも交流し、学びを深めました。さらに、「丹波竜フェスタ」にて報告会を開催し、学習の成果を市民に広く発表しました。 実施日：令和７年 10 月 25 日～27 日 訪問先：石川県白山市